

愛称は利用児童と  
一緒に4月に決定予定

# こども第三の居場所 4月から開所します



市では4月から、「こども第三の居場所学習生活支援事業」を開始します。この事業は、こどもが放課後に基本的な生活習慣の形成や学習習慣を身に付けるための学習支援などを目的としています。「こども第三の居場所」とは、家庭や学校以外に、こどもが安心して過ごせる居場所のこと。こどもたちがリラックスして過ごせる環境で人や社会と関わる力や自己肯定感、将来の自立に向けて生き抜く力を身に付けます。  
問い合わせ 福祉相談課 鈴木 ☎️0086

## ■事業概要

対象児童	▶市内在住の小学生 ▶さまざまな事情により、保護者によるこどもの生活習慣の形成や家庭学習の支援が日常的に難しい家庭のこども ※保護者の就業要件はありません。
日時	火、水、木曜日 午後2時(下校時)～午後6時 ※利用者の小学校区や学年などを考慮した上で、週1～3日で受け入れをします。
場所	榛原児童館隣接の「こどもの居場所」(静波1478-2)
募集人数	20人程度 ※定員を超過した場合は、優先度の高いこどもから利用決定をするため、ご希望に添えない場合があります。
利用料	無料
来所方法	放課後、「こどもの居場所」まで徒歩などで来てください。 ※こども自らが徒歩での来所が困難な場合は、スタッフが下校時に小学校へ迎えに行きます。 ※午後6時までには保護者が「こどもの居場所」まで迎えに来てください。

事業を利用したい人は随時お問い合わせください。家庭状況やこどもの様子、来所方法など事前に面談を行います。

## ■建物概要

※上記写真④

建築面積	109.25㎡
構造	鉄骨造平屋建て
設備	キッチンスペース、トイレ完備



①こどもたちが多目的に過ごす広間②キッチンスペースで簡単な食事の調理も可能③公益財団法人B&G財団から助成を受け「こどもの居場所」が完成

# 市制施行20周年記念ロゴマーク 決定しました

市では、市民一人ひとりが一つとなって市制施行20周年の記念を祝い、記念事業を市内外に広く発信するためのシンボルとなる記念ロゴマークについて、候補作品4点の中から、一般投票により総得票数が一番多かった作品を最優秀賞としてロゴマークに決定しました。今後、さまざまな場面で活用し、20周年を盛り上げていきます。(※今号から本紙表紙に掲載)  
問い合わせ 秘書広報課 横山 ☎️0040



## ■作者がロゴマークに込めた思い

私の住んでいる牧之原市には自慢したい、食べ物、花、特長がたくさんあります。そんな牧之原市の魅力を一目見て伝わるようにとシルエットで表し、牧之原市とたくさんの人がつながり、輪となるよう願いを込めて円で囲みました。

詳細は市ホームページをご覧ください。



## ■作者コメント 近藤琉稀さん(市内在住・中学生)

まさか私の作品が選ばれるとは思っていなかったため、とてもびっくりしました。本当に嬉しいです。投票していただいた人に感謝したいです。このロゴマークを色々な機会でも活用して多くの人に見てもらいたいです。そして、牧之原市が人や地域のつながりで賑やかになってほしいです。



▲2月26日の表彰式にて、杉本市長から表彰状を受け取る近藤さん④

## ■ロゴマーク決定の経緯

応募作品総数238(有効作品数235)の中から審査を経て、候補4作品を選定し、インターネットによる一般投票を実施。多くの投票をありがとうございました。

## 【一般投票】

- ▶期間：1月20日(日)～2月19日(日)
- ▶方法：専用フォームにて候補作品4点から1作品を選び、投票。(一人1回)
- ▶対象：市内在住者または在勤・在学者
- ▶投票総数：1,812票
- ▶最優秀賞得票数：949票(52%)